

地域医療連携だより

vol.32

2023.11



院内外188人の医師らが和やかに交流 第19回「地域連携の夕べ」

京都岡本記念病院主催の「地域連携の夕べ」を10月21日、京都市のホテルオーラ京都で開催いたしました。地域の医院・病院とのつながりを深めることが目的で、懇親会を含む完全対面での開催は4年ぶりとなりました。19回目の今回は山城北圏域のみならず、京都市域、乙訓域、山城南域、枚方市など広い地域から医師、歯科医師ら72施設188人に出席いただきました。

◆オールラウンダー「総合内科」へ相談を

第1部では、社会医療法人 岡本病院(財団)藤井信吾理事長の開会あいさつの後、高木敏貴院長、総合内科 福味禎子部長が講演いたしました。7月から総合内科部長に就任した福味医師は、自身の経験、学会で発表した豊富な症例を紹介し「開業医の先生方には細かなことでも気軽にご相談いただきたい」と、オールラウンダーの司令塔として呼びかけました。

高木院長は、当院が「紹介受診重点医療機関」として地域での役割を果たしていくために、地域の医療機関とのより強固な連携が必要だと語り、2025年4月に開院予定の「くみやま岡本病院」についても触れ、「回復期の病院ができることで、急性期診療にもメリットをもたらすであろう」との展望を示しました。

◆座談会で当院の地域医療連携における問題点を議論

続く「外来機能分化時代の地域医療連携」と題した座談会は一方通行の情報発信に終わらない意見交換の場として企画した初の試みで、宇治久世・綴喜両医師会の先生方にパネリストとして登壇いただきました。



京都岡本記念病院 総合内科 福味禎子 部長

裏面へ続く→



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院 地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)

FAX 0774-46-7835 (直通)

キ-002 2023.11 OK



診療情報提供書の丁寧な記載について感謝の声もあがったものの、「患者さんは非常勤医師しかいない診療科をよくご存じ」と、常勤医師の配置を望む声や「高齢者はさまざまな疾患をかかえていて、どの診療科に紹介しようか迷うことがある。老年科があると良いが、そのようなケースを総合内科で診てもらえるか」とのご意見も寄せられました。司会で地域医療連携担当の牧野雅弘副院長は「さまざまな視点からの提

言をしっかりと受け止め、今後の地域連携の構築に生かしていく」と締めくくりました。

第2部は、堀内房成宇治久世医師会会长のあいさつ、安田美希生綴喜医師会会长の乾杯のご発声で懇親会に入り、会場では、開業医と当院の医師が顔を合わせて話す場面が各所でみられ、和やかに交流を深め合いました。

参加いただいた皆さん ありがとうございました。今後も、地域連携を深める機会をさまざまに企画してまいりますので、よろしくお願ひいたします。



宇治久世医師会
田村晃浩先生



綴喜医師会
中村肇先生



宇治久世医師会
村山祐一郎先生



宇治久世医師会
小山邦彦先生



京都岡本記念病院
院長 高木敏貴



京都岡本記念病院
副院長 牧野雅弘
(地域連携担当)

京都岡本記念病院 地域医療連携部 新部長からごあいさつ



地域医療連携部 部長
むらた ともみ
村田 知美

このたび加藤久代の後任として、私村田知美は11月1日付で地域医療連携部長に就任いたしました。前任者同様、看護師としての経験を生かし、職員一同ますます地域医療の貢献に邁進する所存でございます。どのようなご相談もお受けできるように調整してまいります。これからもより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年4月(予定) 「くみやま岡本病院」を開院いたします

2025年4月、京都岡本記念病院の南隣に新しい病院「くみやま岡本病院」を開院いたします。「くみやま岡本病院」は、地域包括ケア病棟50床回復期リハビリテーション病棟50床で回復期医療を主とする病院です。



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院 地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)

FAX 0774-46-7835 (直通)

キ-002 2023.11 OK

大切にします
ここからやすらぎを